

令和4年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和4年7月25日(月曜日)

○日時 令和4年7月25日 午前11時26分開会
○場所 議場
○議件
1. 議案第1号 令和4年度網走市一般会計補正
予算中、所管分

次 長 石井公晶
総務議事係長 法師人 絵理
総務議事係 早 渕 由 樹
総務議事係 山 口 諒

○出席委員(5名)
副委員長 近藤憲治
委員 石垣直樹
金兵智則
工藤英治
澤谷淳子

○欠席委員(1名) 松浦敏司

○議長 井戸達也

○委員外議員(0名)

○傍聴議員(6名)
小田部 照
栗田政男
永本浩子
平賀貴幸
古田純也
村椿敏章

○説明者
副市長 後藤利博
健康福祉部長 桶屋盛樹
介護福祉課長 阿部昌和
子育て支援課長 岩本純一
子育て支援課参事 小沼麻紀

教育長 岩永雅浩
学校教育部長 田口 徹
学校教育部次長 小松広典
学校教育部次長 大垣正紀

○事務局職員
事務局長 林 幸一

午前11時26分開会

○近藤憲治副委員長 ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

松浦委員長から欠席の届出がございましたので、御報告をいたします。

委員長に代わりまして、私が進行させていただきます。

本日の委員会では、付託されました議案1件について審査いたします。

それではまず初めに、議案第1号令和4年度網走市一般会計補正予算中、高齢者福祉施設整備事業、地域密着型施設サービス等整備事業補助金について説明を求めます。

○阿部昌和介護福祉課長 議案資料の6ページを御覧ください。

令和4年度一般会計高齢者福祉費、地域密着型施設サービス等整備事業補助金の補正予算につきまして御説明いたします。

1の補正の理由及び内容であります。社会福祉法人が行う小規模特別養護老人ホームの整備に対し、補助金を交付するために必要となる経費を追加するものであり、金額は北海道から交付の内示を受けた5,850万9,000円に、市の補助1,600万円を加え、7,450万9,000円となります。

当該地域密着型施設につきましては、現状、通所、訪問、ショートステイを組み合わせたサービスを提供する、小規模多機能型居宅介護を併設した、2ユニット18床の小規模特別養護老人ホームであります。今回の整備内容といたしましては、小規模多機能型居宅介護の廃止と併せ、施設の増改築により、小規模特別養護老人ホームを11床増床し、地域密着型施設の上限となる、定員29名まで拡大を図るものであります。

なお、今回の増床につきましては、第8期網走市介護保険事業計画に基づく整備となります。

2の補正額であります。7,450万9,000円の財源

内訳は、(1)歳出予算の記載のとおり、道補助金が5,850万9,000円、一般財源は1,600万円となります。

歳入予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、(2)歳入予算に記載のとおりとなります。

説明は以上でございます。

○近藤憲治副委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございますか。

○澤谷淳子委員 今の御説明で、ちょっと確認だったのですけれども、11床増床するという事になって、当市として全体で29床できるということなのでしょう。

○阿部昌和介護福祉課長 小規模特別養護老人ホームとして、29床になるということでございます。

○澤谷淳子委員 この施設だけで。

○近藤憲治副委員長 指名されてから発言をお願いいたします。

答弁まだ続きますか。

一旦よろしいですね。

○澤谷淳子委員 申し訳ありません。

それでは全体で29床ということですね。

○阿部昌和介護福祉課長 今回整備する施設、増改築する施設で29床ということでございます。

○澤谷淳子委員 もし御存知でしたらいいのですが、この入所を待っているというか、待機者ですね、待機している方はどのくらいいらっしゃるかというのは、把握されていますでしょうか。

○阿部昌和介護福祉課長 入所の待機者数であります。直近ということではないのですが、第8期計画を策定時には125名が待機していた状況でございます。

○澤谷淳子委員 125名ということで、大体そんなに年間通してというか、そんなに差はないくらい、皆さん増えているというのでしょうか。

そういうような状況はわかりますか。

○阿部昌和介護福祉課長 申し訳ありませんが、各年度です、何名ずつ増減していることはちょっと資料を持ち合わせてございません。

○澤谷淳子委員 了解いたしました。

○近藤憲治副委員長 そのほかございますか。

○金兵智則委員 補助金ということですので、この施設整備の事業の総額と云えばいいのですかね、お幾らくらいのものなのですか。

○阿部昌和介護福祉課長 事業の総額ということで

ございますが、法人の入札等の関係もございまして、大体2億円程度ということで御理解いただければと思います。

○金兵智則委員 大体2億円くらいの事業のうち、北海道から5,800万円で、市から1,600万円。

市から1,600万円という金額の基準というか、何でこの金額になったのかなど。

○阿部昌和介護福祉課長 市の補助金額1,600万円の算出方法でございますが、平成18年、平成20年に地域密着型施設小規模特養ですね、これを補助した実績がございまして、そこから1床当たりの補助実績単価を算出したしまして、それが111万1,000円で、道の交付基準単価が、平成22年度の1床当たり350万円から、令和4年度、1床当たり448万円へ128%上昇しておりますので、最初の111万1,000円に、道補助の交付基準額の上昇率128%を掛けまして、1床当たりの補助単価を142万2,000円とし、それを11床分に掛けて市の補助金額としたところでございます。

○金兵智則委員 わかりました。

物価高騰というのも影響を受けているのかなというふうに思いますけれども、これ多分、道から内示を受けるためには、施設さんのほうでなのかな、申請をされてということなのだと思うのですが、この多分、申請時と今現在、今後、補助を受けて工事をしていくときの工事代金って多分、大分変わってきているのではないかなというふうに思うのですが、その辺で法人さんの負担とかというのは大丈夫なものなのですか。

○阿部昌和介護福祉課長 確かに高額にはなっておりますけれども、法人としてはできるという判断になっていると聞いております。

○金兵智則委員 わかりました。

○近藤憲治副委員長 そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですので次に進みます。

続きまして、議案第1号中、新型コロナウイルス感染症対策事業、保育所等給食食材費高騰対策事業の説明を求めます。

○岩本純一子育て支援課長 議案資料7ページを御覧ください。

令和4年度一般会計保育所費、保育所等給食食材費高騰対策事業の補正予算について御説明申し上げます。

1の補正の理由及び内容でございますが、国の新

型新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、公立保育所1か所、及び僻地保育所5か所におきまして、給食の食材料費高騰により新たな保護者負担が生じないように、必要となる経費を追加するものであり、金額は、公立保育所の給食食材料費26万4,000円と、僻地保育所の給食食材料費高騰に伴う委託費21万5,000円の合計で47万9,000円となります。

2の補正額でございますが、歳出予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、
(1)歳出予算に記載のとおりとなり、財源内訳は全額国庫補助金となります。

歳入予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、(2)歳入予算に記載のとおりとなります。

なお、私立の幼稚園及び認定こども園に対しましては、北海道による物価高騰に伴う、保育所等に係る給食費等に関する保護者負担の軽減対策が講じられ、対象となる施設に直接補助が行われることとなります。

以上で説明を終わります。

○近藤憲治副委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございますか。

○金兵智則委員 食費高騰対策というところなのですけれども、金額的にそれほど大きいものではないなという感じがするのですが、これの算出根拠というのはどのような感じでしょうか。

○岩本純一子育て支援課長 補正額の算出根拠でございますけれども、総務省統計局の消費者物価指数を基にしまして、今年1月以降の上昇率を参考としまして、年間の上昇率を推計して算出しているものでございます。

金額が少ないところにつきましては、給食1食当たりの単価が180円ですとか、3歳未満であれば300円となりますけれども、そういった単価が低いこと、あと、保育園児の数でございますけれども、ひまわり保育園、合計で66名であったり、僻地保育所につきましては、全部合計して72名であったりということで、人数が少ないということで計算したところ、こういった額ということになっております。

○金兵智則委員 わかりました。

○近藤憲治副委員長 そのほかございますか。

○石垣直樹委員 確認なのですけれども、今回、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用されるということなのですけれども、この交付金は食材

料費の高騰に充ててもいい交付金ということではなかったですか。

○岩本純一子育て支援課長 そのとおりでございます。

○近藤憲治副委員長 そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですので、続きまして、議案第1号中、新型コロナウイルス感染症対策事業、学校給食食材料費高騰対策支援金給付事業の説明を求めます。

○小松広典学校教育部次長 議案資料8ページを御覧願います。

令和4年度一般会計学校給食費、学校給食食材料費高騰対策支援金給付事業の補正予算について御説明いたします。

1の補正の理由及び内容でございますが、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給食の食材料費高騰による新たな保護者負担が生じないように、学校給食会計に支援金を給付するため、必要な経費を追加補正するものであり、金額は865万8,000円となります。

今年度に入って、物価高騰の影響が著しく、学校給食における食材の購入につきましても、何かを切り詰めるなど、調整しながら運営している状況が生じているということでございます。

そのため、新たな保護者負担を生じさせることなく、これまでどおりの栄養価や品数など、質や量を保った学校給食の提供が継続できるよう、食材料費を管理する学校給食会計に対して、支援金を給付しようとするものでございます。

支援金の額につきましては、令和4年1月に積算した標準給食単価を基準として、総務省が公表する消費者物価指数を参考に積算した額となっております。

2の補正額でございますが、事業費865万8,000円の財源内訳につきましては、(1)歳出予算に記載のとおり、全額、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金を活用するものでございます。

歳入予算における、補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、(2)歳入予算に記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

○近藤憲治副委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございますか。

○石垣直樹委員 確認なのですけれども、春に給食

費が上がりました。

その後、食材費の高騰が続いている中で、学校給食に関しては決められた材料費、保護者が負担している部分を切り詰めて、おそらく量を減らしたり、品目を減らしたりしてやってきたという現状があって、今回の、この支援金を学校給食会計に入れることで今まで通りの給食量、品数を出していくのか、それとも各家庭の給食費の部分が下がるのか、どちらなのでしょう。

○小松広典学校教育部次長 これまでの給食費につきましては、年度当初にみました給食費によって、支給して給食を作っていくということでございまして、高騰分につきましては、市のほうから学校給食会計に対して補填する形になりますけれども、会計に繰入れることによってその質を担保しようとするものでございます。

○石垣直樹委員 ということは、給食費に関しては変わらず、高騰分を支援することで値上げされた給食費のままで、支給されるというのは変わらないでいくということですね。

○小松広典学校教育部次長 そのとおりでございます。

○近藤憲治副委員長 そのほかございますか。

○金兵智則委員 まず、お伺いしたいのは、算出の方法は、先ほどの保育所のほうと同じ説明だということですか。

○小松広典学校教育部次長 子育て支援課と同じスキームで計算しております。

○金兵智則委員 わかりました。

これ、上昇率を掛けて金額を出したというような、さっきの説明だったので、そういうことなのかなというふうに思いますけれども、今、石垣委員のほうからありました。

ちょっともう1回、僕、理解ちょっと最後までし切れなかったもので、もう1回確認したいのですけれども、今年度から給食費が上がったのも、あれですよ、物価が上がってきたのでという理由だったような気がするのですけれども、それで今までの分より上げましたよと。

さらに、その予想を上回る物価上昇があるので、その分を補填しますよという理解でよかったのですよね。

○小松広典学校教育部次長 そのとおりでございます。

○金兵智則委員 これ、ちなみにこの金額って、ち

よっとさっき保育所のほうでも聞き忘れたのですけれども年度分という理解でいいですか。

○小松広典学校教育部次長 現時点で上昇率を勘案しまして、1年度分の金額として積算しております。

○金兵智則委員 さっきの説明だと、多分1月から6月の上昇率をとる計算だったので、今後さらに上がっていったときはどうなるのですか。

○小松広典学校教育部次長 今、給付金の支給につきましては、8月をめぐりに給付金を支給しようとしているのですけれども、また、12月をめぐりとして、改めて物価上昇率を確認しまして、また、給付金について検討したいというふうに考えております。

○金兵智則委員 さっき総務のほうであったのですけれども、新型コロナの地方創生臨時交付金が多分全て使い切ったといったような話になっていたと思うのですけれども、今後もし上昇していったときに、また対応をするとなったときは、また違う方法を考えていくということですか。

○小松広典学校教育部次長 財政当局と相談しながら、財源につきましては検討してまいりたいというふうに考えております。

○近藤憲治副委員長 そのほかございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、この件につきましても質疑を終結いたします。

それではお諮りをいたします。

議案第1号令和4年度網走市一般会計補正予算中、所管分につきましては、全会一致により原案可決すべきものと決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そのように決定をいたしました。

それでは、これをもって文教民生委員会を終了いたします。

御苦労さまでした。

午前11時45分閉会